

2024年3月期決算補足資料

2024年4月26日

三晃金属工業株式会社



2024年3月期 決算概要

事業環境

- 当事業年度の需要の前提となる2022年度の全国非住宅鉄骨造着工床面積（申請ベース）は、**前期比8.4%減少**
- 全国非住宅鉄骨造着工床面積の内、当社工事物件に関する工場・倉庫においては**前期比4.1%減少**
- 鋼材を含む材料費上昇と労務不足の影響により**建築コストは総じて高い水準で推移**

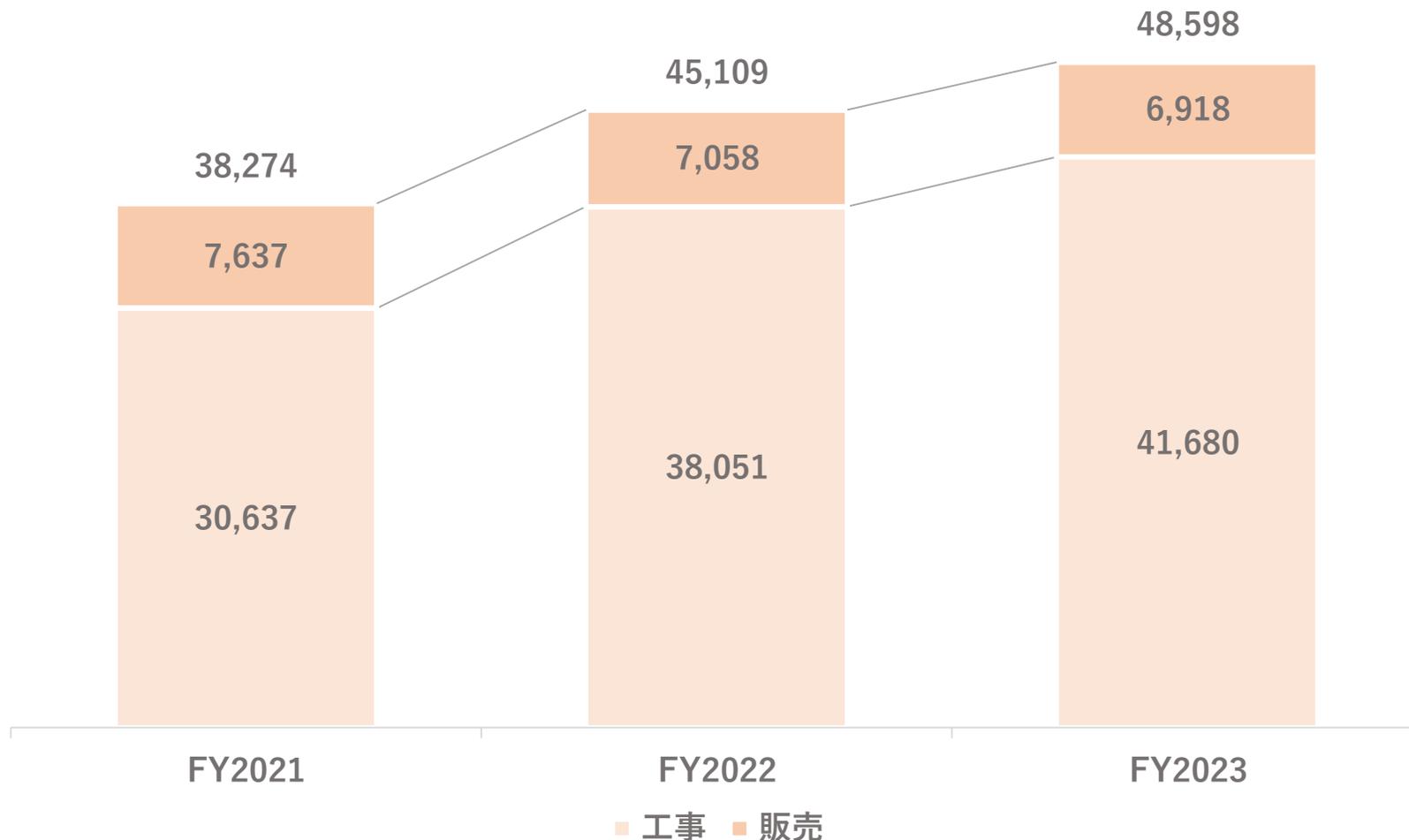
売上高は、工場・倉庫などの堅調な需要に支えられ**7.8%増収**
 経常利益は、増収及び売上利益率改善に伴い**10.2%増益**
 ROEは前期に引き続き**10.8%**

単位：百万円

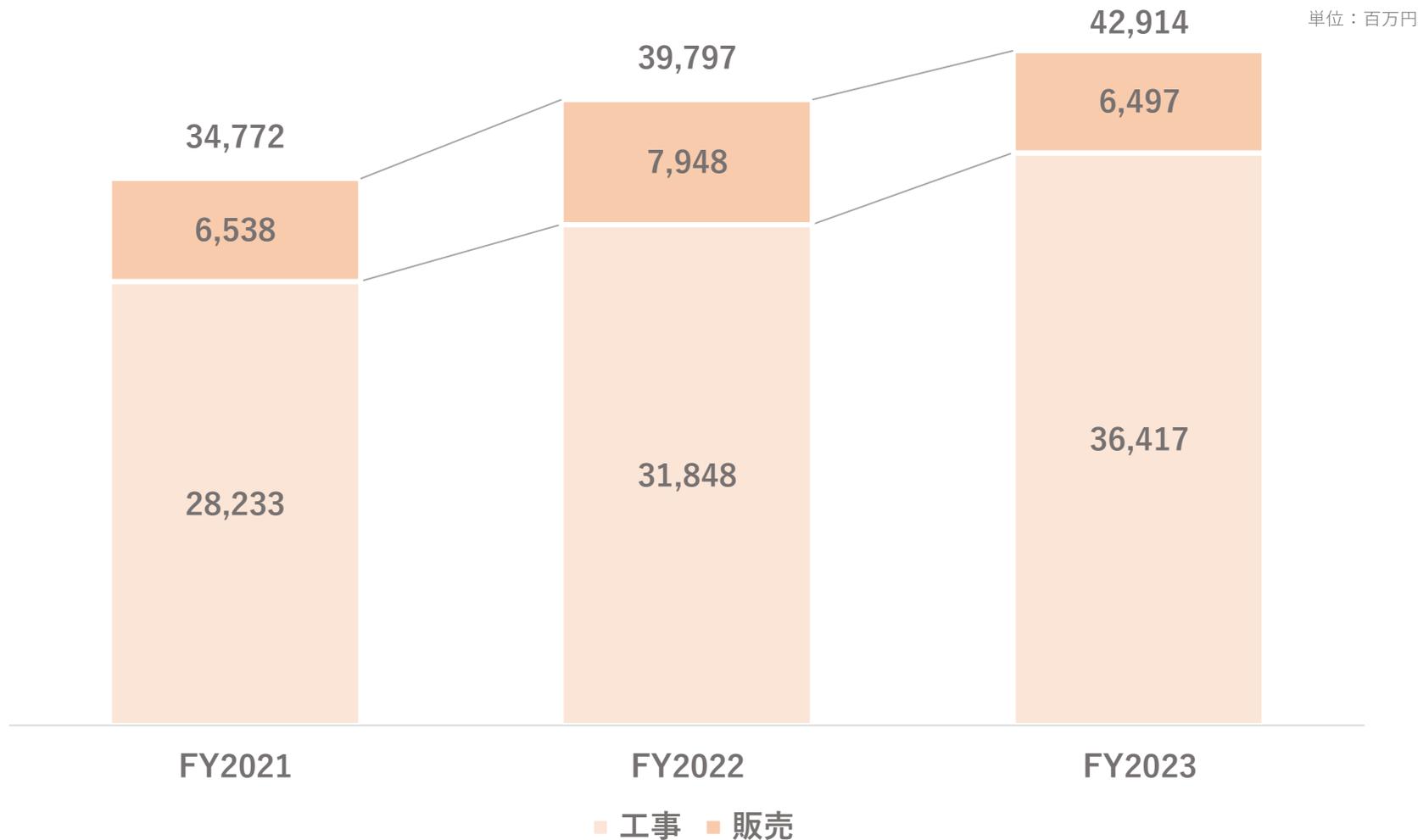
	FY2021	FY2022	FY2023	対FY2022
売上高	34,772	39,797	42,914	3,117
売上総利益	7,310	8,565	9,347	782
売上総利益率	21.0%	21.5%	21.8%	0.3%
販売費及び一般管理費	4,885	5,189	5,636	447
経常利益	2,421	3,366	3,709	343
当期純利益	1,648	2,372	2,593	221
RO S (売上高経常利益率)	7.0%	8.5%	8.6%	0.1%
RO E (自己資本利益率)	8.0%	10.8%	10.8%	-

国内生産施設、物流倉庫を中心とした大型新築工事物件、建屋の改修ニーズ捕捉による改修工事の受注増加により**前期比7.7%増**

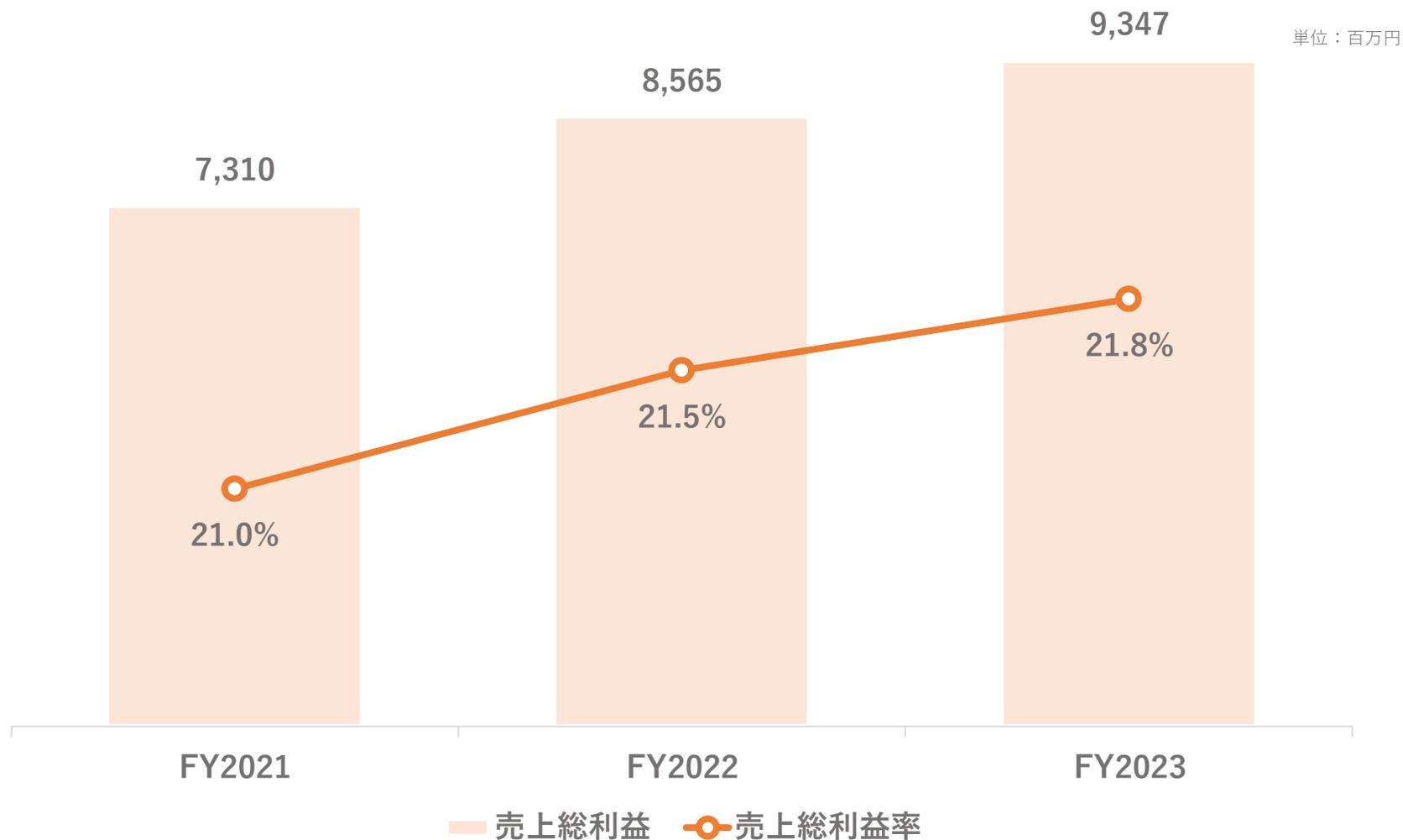
単位：百万円



高いレベルにあった期首受注残の工事が順調に進捗したこと等により
前期比7.8%増収

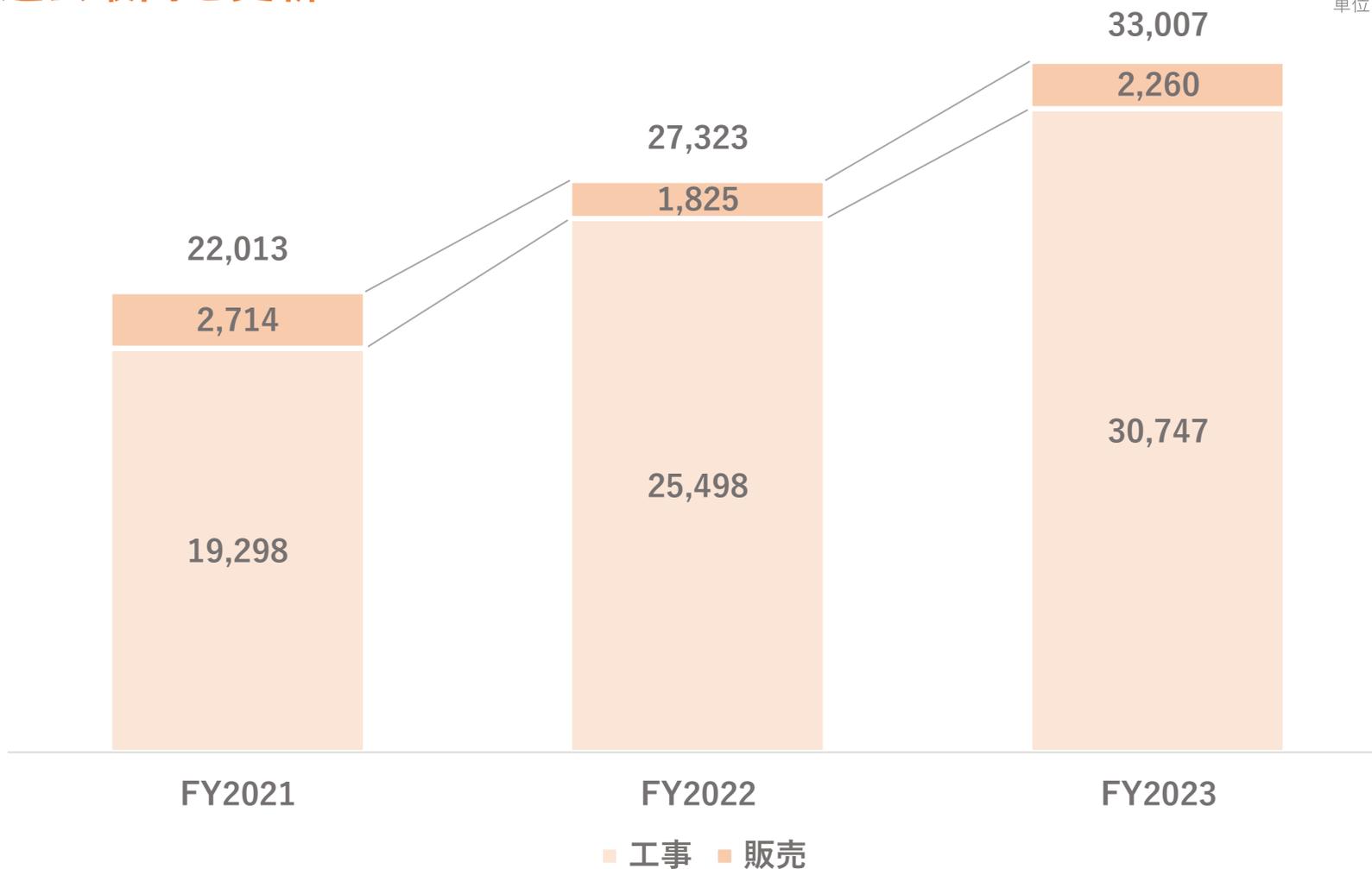


増収効果に加え、売上総利益率の改善（前期比+0.3%）により前期比
9.1%増益



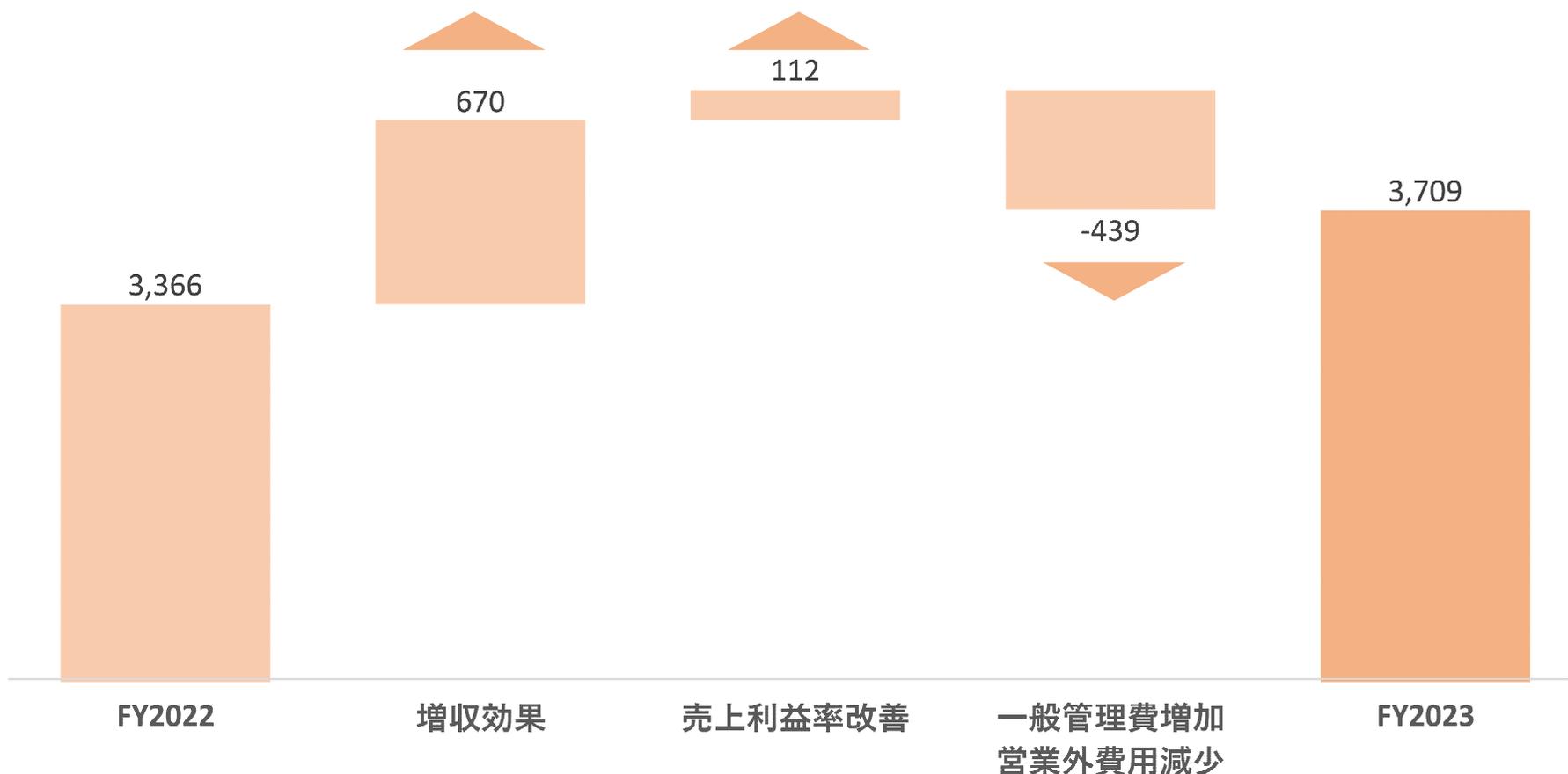
屋根工事の受注残高増加により**前期比+20.8%増**
過去最高を更新

単位：百万円



増収効果、売上利益率改善により+782百万円（23.2%）増加
ベースアップ等処遇改善、営業・工事系システムの基盤整備に係る減価償却費等固定費439百万円（13%増加）により**前期比10.2%増益**

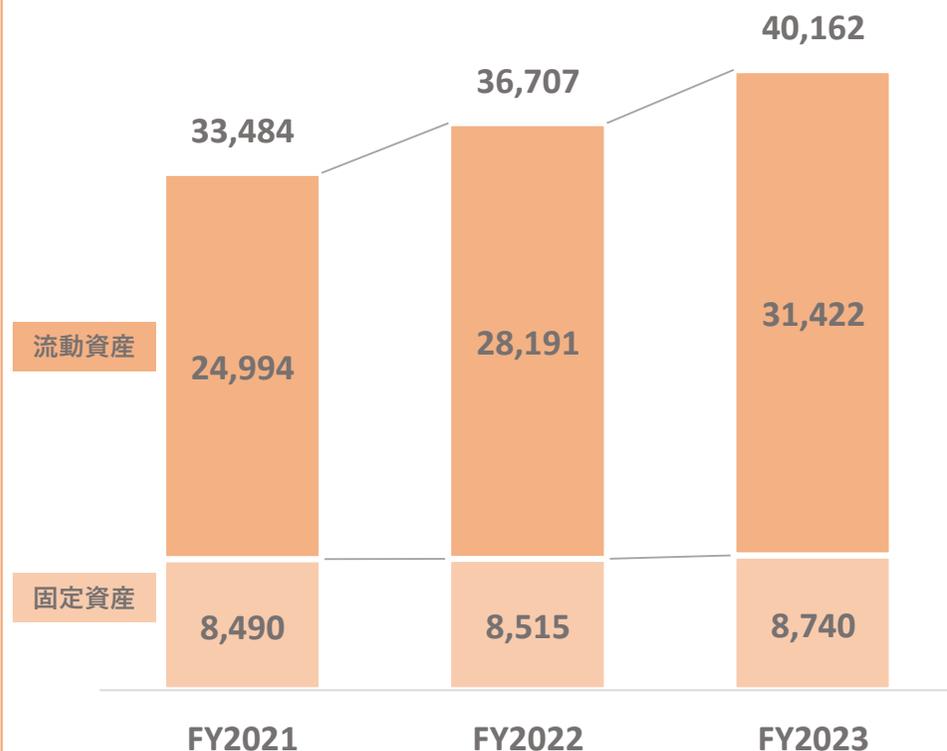
単位：百万円



増収に伴い総資産増加

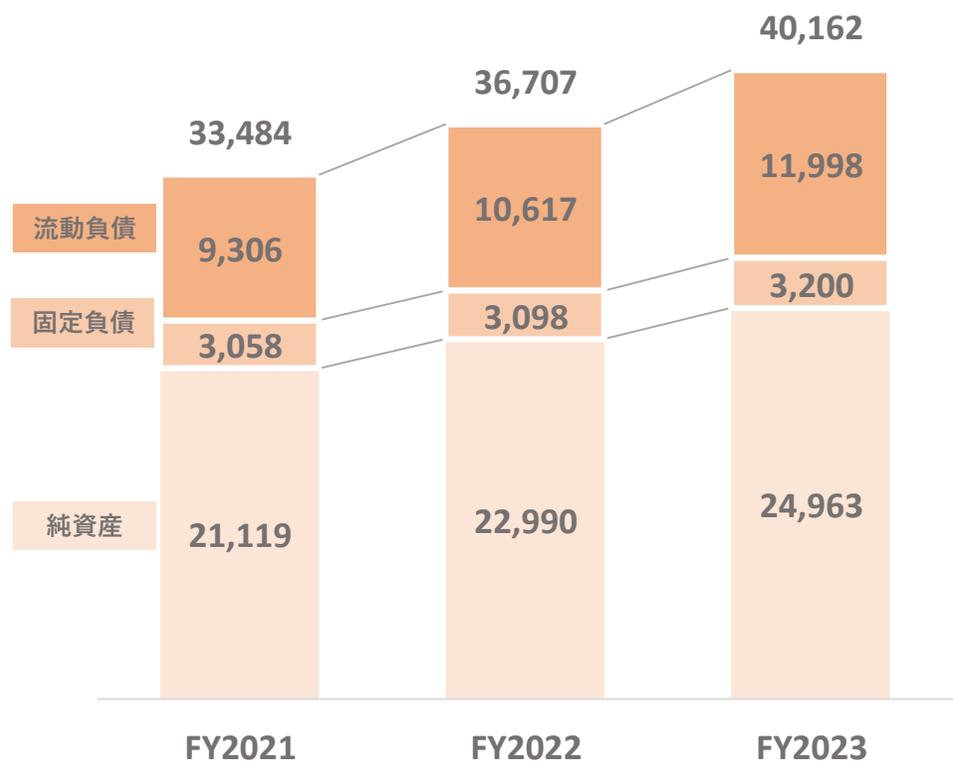
■資産の部

単位：百万円



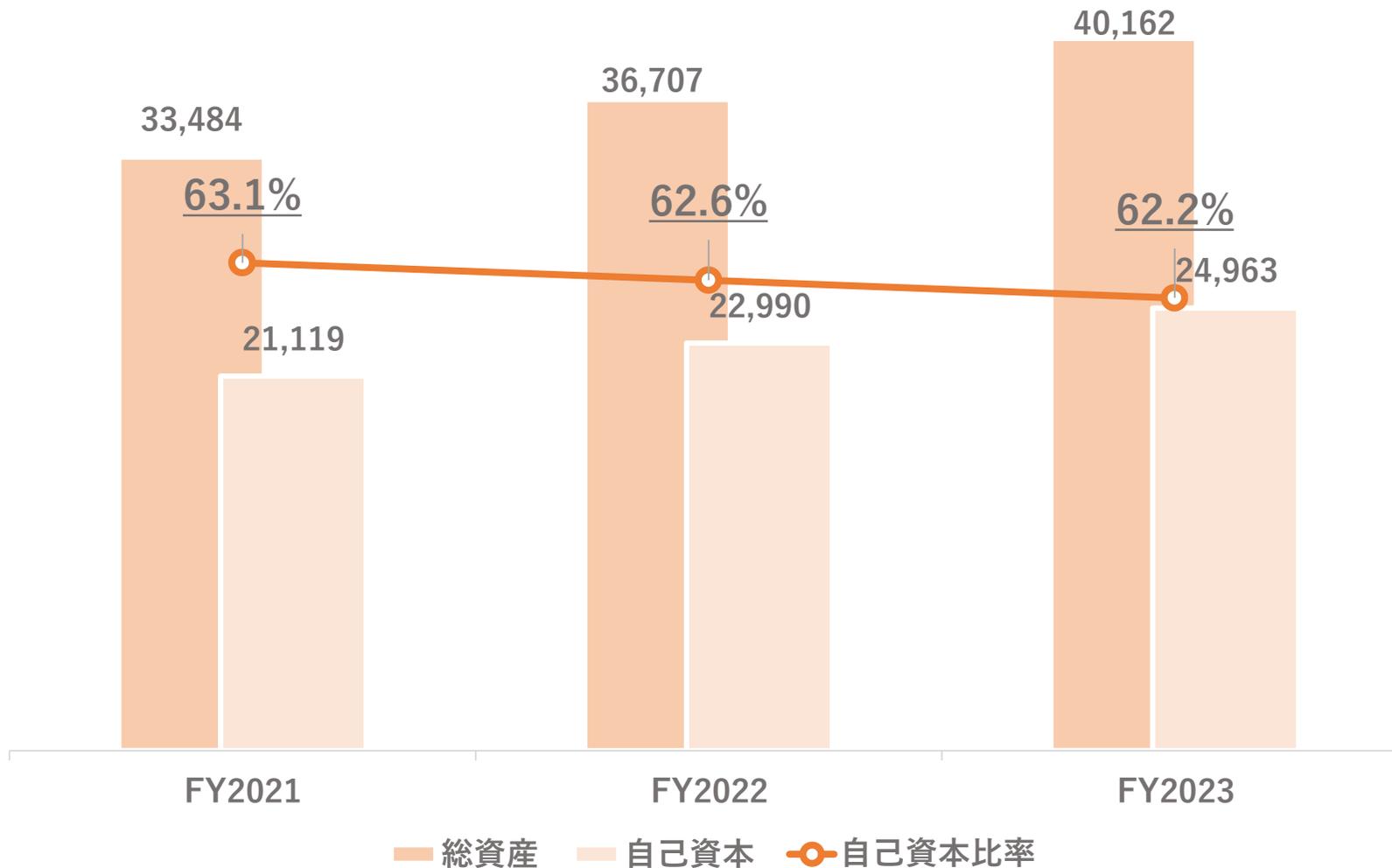
■負債・純資産の部

単位：百万円



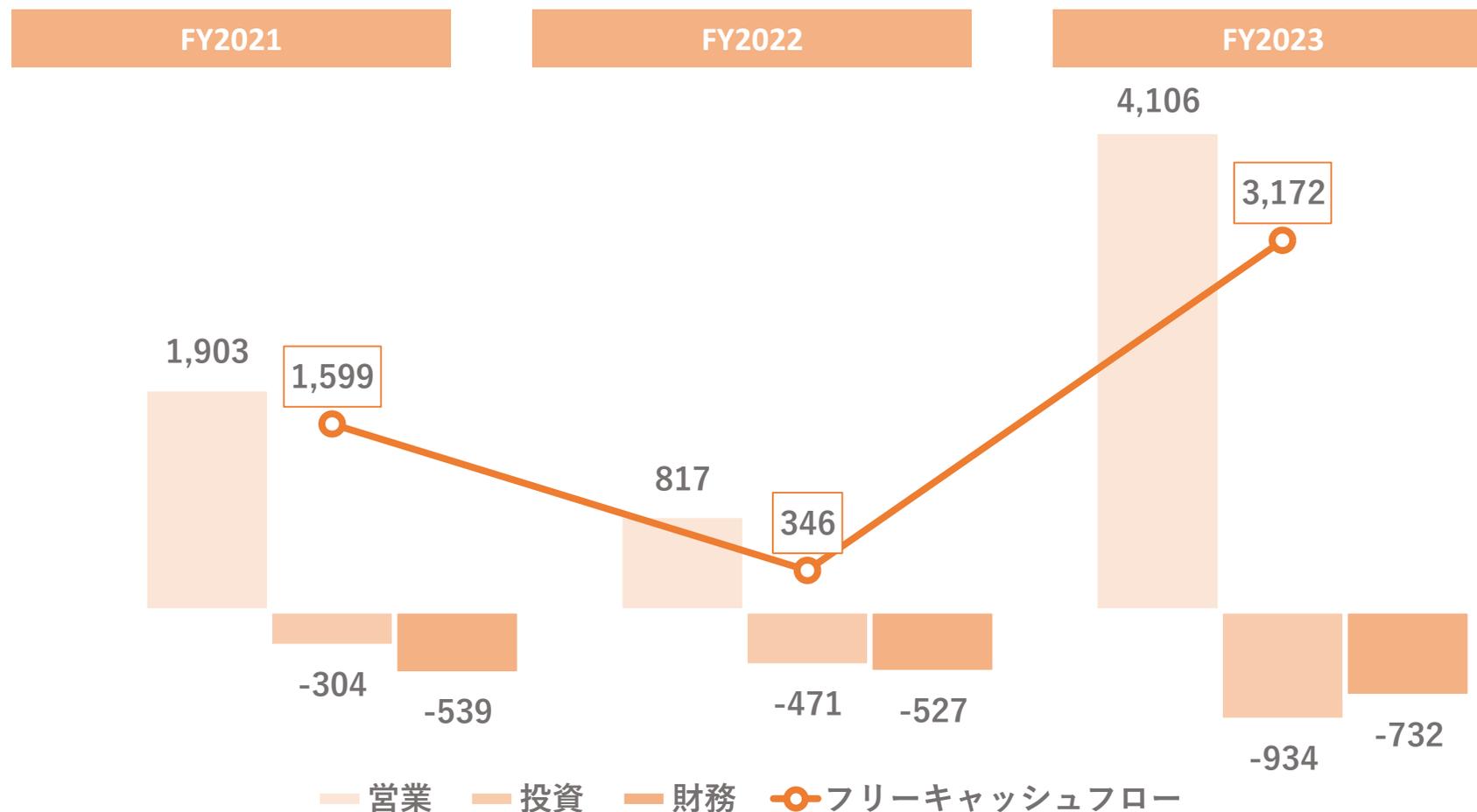
自己資本比率は**62.2%**と高い水準を維持

単位：百万円



営業CFは売上債権の回収が進み大幅に増加

単位：百万円



2025年3月期 業績予想

事業環境

- 新築需要は減少の見通し
- 今年度から建設業にも適用される残業規制や人手不足に起因する前工程の遅延、建設コスト高騰による建設計画の中止・延期を懸念

当社方針

- 営業面では技術提案を中心に設計織込み営業を強化
今秋には新しい省施工商品を市場に投入し、さらに受注を拡大
- 工事面では引き続き高レベルの期首受注残高を維持しており、工事量の増加を確実に実行し増収に注力
- 一方で、資材、労務、運送等上昇した建築コストの受注価格への転嫁と一層のコスト低減強化による全体的な利益確保

売上高は、期首受注残高が売上に寄与し**4.9%増収の450億円**
 経常利益は、売上総利益が増収により**3.9億円増加**するものの、人件費上
 昇等に伴う固定費が**6億円増加**し、**5.6%減益の35億円**

単位：百万円

	FY2023	FY2024 業績予想	対FY2023 比較
売上高	42,914	45,000	2,086
経常利益	3,709	3,500	-209
純利益	2,593	2,460	-133
R O S	8.6%	7.8%	-0.8%

配当性向30%方針より**190円配当**を予定

